

-----12月10日----- 2018年

※ 今週のアウトルック (12/10~12/14)

先週前半は週末に米国雇用統計を控え、利益確定売りがやや先行した形となりました。金曜日に発表された米国雇用統計は予想をやや裏切り悪化する形となったため、失望売りが優勢となっています。

今週は米ドル売りの流れをそのまま引き続く形となるのか、一定のラインで下げ止まるのかがまずは注目されます。

この所のサポートラインを維持できるかどうかポイントとなりそうです。

先週のドル円は、やや利益確定が先行する形となり、112.5円付近のサポートライン付近まで下落して、そのまま雇用統計の発表を迎えました。結果は予想を裏切る形の悪化となり、NY市場の時間経過とともに下げ幅をやや拡大しています。

今週は、このまま下落トレンドを引き継ぐ形となるのか、それともサポートライン付近で下げ止まる形となるのかが、まずは注目されますが、111.5円から112.5円付近のサポートラインを死守できるかがポイントとなりそうです。

ドル円の予想レンジは110円から113円です。

ユーロ円はユーロドルのややユーロ高よりの展開と円高で動きづらい展開が続いています。今週、ユーロドルが1.145付近のレジスタンスをブレイクできると、ユーロ円も130円付近のレジスタンスブレイクが期待できるように思います。

ユーロ円の予想レンジは127円から133円です。

ポンド円はやや売り先行の展開が続いています。今週、143円付近のサポートラインを割ってしまうと、140円付近までの下落は避けられないように思います。

ポンド円の予想レンジは140円から146円です。

今週は米国雇用統計の悪化と、年末のポジション調整が先行して下落トレンド優勢となる可能性が高そうですが、サポートライン抜けからの急落には注意が必要のように思います。

\*免責事項\*

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。